

のびようよ

学校だより 富山県立となみ東支援学校

富山県砺波市福山1149 TEL 0763-37-1553 FAX 0763-37-1554

URL <http://www.tonamihigashi-sh.tym.ed.jp> E-mail tonamihigashishien@ed.pref.toyama.jp



「地元の力をお借りして」

校長 齊藤 和枝

学校のすぐそばに三助焼窯元があります。三助焼は砺波地区の家々の暮らしの中で飾られたり用いられたりして、この辺りではとても馴染み深い、砺波を代表する焼き物です。

今年度はとやま新時代創造プロジェクト学習推進事業を利用し、外部講師として五代目、六代目窯元に来校していただき、図画工作や美術の時間を中心に手びねりや絵付けの手ほどきを受けました。大変丁寧に、しかも子どもたちの願いを大切にしてくださるので、「先生大好き」と窯元を慕う子どももいました。子どもたちが夢中で作る姿を見て、素材や人との出会いに刺激を受けていることが感じられました。

三助焼の陶土は福山の山から採取され、きめ細かい粘土に仕上げるまで3年はかかるそうです。また、釉薬も地元産の原料で手作りされており、これにも2年が必要だそうです。福山の土と釉薬と、代々受け継がれてきた匠の技術が合わさって、この土地でしかできない地元で愛される逸品ができるのです。

焼きあがった皿やカップ、箸置き等の作品を手にした子どもたちの表情や言葉からも、子どもたちは地元の風土と人々によって培われた素材や技の力を借りて、ものづくりの楽しさや魅力、人と関わることの喜びを味わうことが十分できたと思います。

地元の力に感謝し、これからも地域とのつながりを大切に、心豊かに生活する人の育成を目指していきたいと思います。

令和6年度 学校評価について

「アクションプラン」として二つの重点課題に取り組みます。

重点課題	【学習活動】 地域資源・人材を活用した学習活動の充実	【学習活動】 災害や安全に対する意識を高める防災教育の充実
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源（越中三助焼）の活用による知識の習得及び活動実践を小中学部児童生徒一人につき3回実施。 地域人材（書人会師範）の活用による知識の習得及び活動実践を小学部高学年児童・中学部生徒一人につき2回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災用品や災害用備蓄品について調べたり使用したりする体験を中心とした活動を小中学部で6回以上実施。 災害から命を守るために必要なことについて考え、実践することを中心とした活動を小中学部で6回以上実施。 災害を想定した環境設定をし、防災用品を用いて行う避難訓練を年間2回実施。



運動会

5月18日(土)



昨年度より本校の運動会は体育館で実施しています。

小学部競技では、水の入ったペットボトルを運びリレーや、平均台や的当て、ミニハードルなどがあるコースを周回するサーキットを行いました。中学部競技では、ミニハードルやラダーなどの課題をクリアし、ボールを投げてネットに入れたり、大谷翔平選手から寄贈されたグローブを使ってキャッチボールやノックを受けたりしました。

集団競技の玉集めでは、スタートと終了の合図を保護者の方にいただきました。体育館に散らばったたくさんのお手玉を、両手いっぱい抱えて何度も往復したり籠や袋に入れて丁寧に集めたりとそれぞれの個性を発揮して、素早く集めることができました。

ふれあいタイムでは、フォークダンスの定番曲「マイムマイム」を踊りました。保護者の皆様や卒業生にも参加していただき、みんなで大きな輪を作り、楽しくふれあうことができました。

閉会式は、保護者の皆様と子供たちが一緒に半円を作って座り、校長より、日頃の練習の様子や当日の取組について一人一人講評をもらいました。頑張りを全員でたたえ合い、大きな拍手に包まれました。

保護者や地域の方々、砺波学園の方々からの温かい応援を間近で受けながら、準備や片付けなどそれぞれの役割を果たし、体育の学習や日々の練習の成果を発揮することができました。



集団競技「玉集め」



開会式



小学部競技



中学部競技



ふれあいタイム「マイムマイム」

全校ボランティア活動



プランターの洗浄



来賓用スリッパ棚の清掃

本校では、児童生徒全員がオレンジのベストやワッペンを付けて、全校ボランティア活動に取り組んでいます。明るい学校作りや地域のために、できることや誰かの役に立つことを自分で考えたり教師と相談して決めたりした活動を行っています。

中学部の生徒は、「花いっぱい運動」の花の苗を植えるため、プランターの洗浄を行いました。こびりついていた土をブラシやシャワーで流しながらきれいになりました。また、小学部の児童は、みんなで使う学習室の清掃や来校されるお客さんのためにスリッパ棚の清掃を行いました。

小学部

校外学習

7月11日(木)

生活単元学習「自然や科学に親しもう」の学習の一環として、富山市科学博物館に行ってきました。いろいろな装置で科学実験や自然現象を体験したり、展示を見たりしました。事前学習で行った鏡の実験や水の圧力で物を切る実験を、大きな装置でダイナミックに行うことができました。また、プラネタリウムでは満天の星空を見たり夏の星座の話を聞いたりしました。きまりやマナーを守って、みんな楽しく見学することができました。



ティラノサウルスと挨拶



水の圧力で紙を切る実験

中学部

校外学習

6月25日(火)

生活単元学習「災害について考えよう、知ろう」の学習の一環として、富山市の四季防災館を訪問しました。

防災シアターでは、東日本大震災や2007年の能登半島地震の様子、富山県で起こった土砂災害についての動画を見ました。地震体験では、震度7までのいろいろな種類の揺れを体験して手に汗をかいている生徒がいました。消火体験では、モニター内の火に消火器の水をかけて、何とかして消そうと頑張っていました。

貴重な経験をすることができました。



地震体験



消火体験



地域の専門家を招いての学習

6月から7月にかけて3回にわたり、福山地区に窯元を構える越中三助焼の谷口さん（五代目）と竹鼻さん（六代目）に来校いただき、児童生徒へ「手びねり」「絵付け」の指導をしていただきました。「手びねり」では、粘土の感触を味わいながら、麺棒を使って伸ばしたり、手で形を整えたり、指やいろいろな素材を使ってくぼみや模様を付けたりしました。「絵付け」では、素焼きの平皿に筆やタンポなどを使って数色の絵の具で着色しました。どちらの活動でも児童生徒が興味をもって意欲的に取り組む姿が見られ、一人一人の手が加わった皿や湯呑、コーヒーカップ、箸置きなどの作品が次々に出来上がりました。



「絵付け」
素焼きのお皿に彩りを



「手びねり」手本をよく見て

第1回防災教室・避難訓練（地震時）

5月22日（水）

本校の児童生徒は、学校では年間3回、学園では年間12回の避難訓練を行っています。避難時の約束、避難時に必要な行動について知っており、指示に従って避難場所に避難することができます。しかし、令和6年元日の能登半島地震で実際に大きな揺れとその恐ろしさを体験し、危険から身を守ることに不安を感じたことと思います。そこで、災害や防災に関する意識を高め生命を守るように、そして非常時に適切な行動ができるように、防災教室・避難訓練（地震時）を実施しました。防災教室では、地震発生時の初期行動及び基本的行動を学び、避難訓練では、ヘルメットや防災頭巾をかぶっての避難や、避難経路が倒壊物で通ることができないなど災害時に想定される状況に即した訓練を行いました。今後は、学校にある防災設備や防災用品、災害用備蓄品について調べたり使用したりして、災害時に役立つものを知ったり実体験したりする学習を予定しています。



避難経路に倒壊物があったら…



机の下に避難する

本の紹介POPの募集・展示

6月に「本の紹介POP」の募集をしました。学校図書館司書や生活委員会の児童生徒が作成した見本を参考に、全校児童生徒より作品が寄せられました。特に好きなシーンを写真に撮って貼る、楽しんで読んでいる写真を貼る、あらすじなどを文で説明するなど、自分に合う方法で、本の素敵ところが表現されました。POPで紹介された本が置かれたコーナーでは、「〇〇さんのお薦めの本だ。」と、手に取る児童生徒の姿も見られました。



本の紹介POP



お薦めの本を展示

寄付・寄贈

ご寄付をいただき、ありがとうございました。

富山パイロットクラブ様より

iPad用学習アプリ30セット、
iPad三脚用ホルダー1個

学校公開週間

6月10日（月）～14日（金）

学校公開週間を実施しました。砺波広域圏の学校や関係機関より、合わせて11名の参加があり、見学と説明を通して本校の教育活動の様子や施設設備、教室環境について知っていただくことができました。

今後も、地域のセンター校として特別支援教育に関する情報発信を行っていきます。

